

高齢者住宅セミナー参加(聴講)費用

- 入場事前登録・有料制
- 参加費(聴講費・税込)

〈一般・1名〉
・2日参加 2万円 ・1日参加 1万2000円

〈高齢者住宅新聞購読者・1名〉
・2日参加 1万6000円 ・1日参加 9000円

〈法人団体割引〉(5名様から)1割引き
※()内は高齢者住宅新聞購読者の場合

5名2日参加の場合	10万円のところ9万円 (8万円のところ7万2000円)
5名1日参加の場合	6万円のところ5万4000円 (4万5000円のところ4万500円)
5名から1名加わるごとに	2日参加で1万8000円(1万4400円) 1日参加で1万800円(8100円)

〈ブース出展者招待割引〉

ブース出展者による招待者割引は上記の高齢者住宅新聞購読者と同様となります。

■参加費は会期前払いです。参加お申込後、請求書をご郵送します。指定の銀行口座にお振り込み下さい。

入金確認後、参加者代表者宛に入場券を人数分お送りします。

お申込みは、添付の「参加登録申込書」にご記入の上、FAX(03-3543-6853)頂くか、webでも受け付けています。

※本状は入場券とはなりません。

高齢者住宅新聞 検索

<http://www.koureisha-jutaku.com>
「高齢者住宅セミナー2013in大阪」ページをご覧下さい。
TEL.03-3543-6852 FAX.03-3543-6853

会場：大阪マーチャンダイズ・マート(OMM)
までの交通アクセス

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-7-31 TEL.06-6943-2020

京阪電車「天満橋」駅東口、
地下鉄谷町線「天満橋」駅北改札口からOMM地下2階に連絡

社説スペース



高齢者住宅セミナー 主な来場者層

- 介護関連／介護施設事業者(有料老人ホーム、グループホーム、老人保健施設、特別養護老人ホームなど)、高齢者住宅事業者、在宅介護サービス、ケアマネジャー、介護機器メーカー、介護コンサルタントなど
- 医療関連／病院、診療所などの医師、事務長、看護師、薬剤師、薬局経営者、ソーシャルワーカー、医療機器メーカーなど
- 不動産・建設関連／デベロッパー、不動産・管理会社、建設会社、設計会社、土地所有者、設備・建材メーカーなど

高齢者住宅セミナー 主な出展者(協賛企業)と出展品目(50音順)

- 弁護士法人アヴァンセリーガルグループ(高齢者施設をとりまく諸問題「介護事故、労務戦略、財産管理、相続問題など」の法的対応と予防策) ■アースアンドウォーター(節水、水道料金削減、省エネ) ■因幡電機産業(無風冷暖房システム「匠柔憧(じょうゆうとうう)」) ■岩通販売(高齢者住宅向け緊急通報システム「岩通セーフティケアシステム」) ■A.D.A.(輸入建材・家具・照明器具・備品) ■エクシング(高齢者向け音楽療法コンテンツ搭載 カラオケシステム「JOY SOUND FESTA!」) ■オージー技研(個浴型介護浴槽「ボランテ」) ■おぎぞ(Re-高強度磁器食器) ■川商(サービス付き高齢者向け住宅の運営「ハートランド」) ■技研商事インターナショナル(介護施設・高齢者住宅運営事業者向け商圏分析システム「Market Analyzer介護版」) ■キヤリア・サービス(日系フィリピン人介護スタッフ紹介) ■九州沖通信機(Qコール電話機) ■近畿シルバーライフ協会(入居身元保証「オーカスタイル」) ■グッピーズ(人材採用支援「グッピー求人」) ■くらし計画(コンサルティング) ■サロンオールディーズ(介護予防自動筋力トレーニングシステム「リハトレーナー」) ■サンオート(福祉施設用電位治療器「スカイウェルSW-9000H」) ■サンリミックス(クロス再生) ■ストライク(M&A仲介) ■積水ホームテクノ(介護・自立支援設備wells「ウェルス」) ■総合メディカル(調剤薬局・訪問服薬指導) ■タアロアエンジニアリング(無断外出防止マットアンテナシステム・起床センサー・着床センサー) ■第一興商(生活総合機能改善機器 DK ELDER SYSTEM 「FREE DAM」) ■医療法人社団高輪会(訪問歯科診療) ■チエリー・BPM(GPシューズ、GPアクセ) ■都築電気(KitFitSilverland高齢者住宅システム) ■ナチュラルケア(24時間365日の対応 訪問診療のナチュラルケアグループ) ■ニイタカ(衛生商品・洗浄剤・衛生対策) ■ネクスト(高齢者向け住宅検索サイト「HOME'S介護」) ■ビーエムエス(高齢者施設向け食事トータルサービス、試食) ■ファミリージョイ(介護衣料品カタログ) ■富士通テレコムネットワークス(緊急通報装置、特定火災通報装置) ■メディケアステーション(介護事業者一括コンサルティング) ■ユーエス計画研究所(介護・福祉施設の企画・提案) ■レオ・トラストパートナーズ(高齢者対応賃貸住宅「おひさまの家」) ほか

高齢者住宅新聞《媒体概要》

- 発行 株式会社高齢者住宅新聞社
- 発行形態 定期購読・タブロイド判
毎週水曜日発行(月4回、各20ページ~)
- 年間購読料 21,000円(税込・発送料込み)
- 主要読者層 施設運営会社、介護サービス会社、医療法人、社会福祉法人、人材サービス、給食・配食会社、不動産・建設会社、土地所有者、設備機器・建材、システム関連、金融関連、自治体ほか

高齢者住宅新聞 Presents

第5回

高齢者住宅 セミナー

大阪

2013 10.29 火・30 水

大阪マーチャンダイズ・マート(OMM) 展示ホールC

入場事前登録・有料制

高齢者の住まいと
介護・医療を考える

2日間で
18講座を用意!!

10:30→16:00
(2日間共)

※本状は入場券ではありません。

《主なテーマ》

- ◇厚労省が考える高齢者住宅のあり方
- ◇介護保険部会委員が語る介護事業の将来像
- ◇上場企業の介護付有老、経営戦略と運営ポイント
- ◇「終の棲家」実現のための在宅医療活用術
- ◇医療法人の医療・介護連携事例紹介
- ◇「サ付き住宅」運営で失敗しないためのコツ
- ◇地域包括ケアの先進事例紹介
- ◇介護におけるリスクマネジメントのポイント
- ◇介護事業者のM&A活用法
- ◇高齢者住宅での看取りのポイント



高齢者住宅・介護ビジネスを成功に導く情報盛りだくさん

行政、民間事業者、医療法人、専門家が経営に役立つ最新情報を発信

参加申込者2大特典

無料進呈

特典①

「高齢者住宅セミナー2013in大阪」
オリジナルガイドブック

特典②

2014年版

「高齢者住宅業界データブック」
(運営会社全国ランキング450法人)

協賛企業35社の 介護施設・高齢者住宅向け 展示ブース

第5回 高齢者住宅セミナー2013in大阪(開催概要)
■会期／2013年10月29日(火)・30日(水) ■会場／大阪マーチャンダイズ・マート(OMM) 展示ホールC(京阪電鉄・地下鉄谷町線「天満橋駅」から直結) ■時間／10時30分～16時(セミナーは11時00分開始)
■参加者数／500名 [入場事前登録・有料制] ■参加対象／介護施設・高齢者住宅事業者の経営者・施設長クラス、医療法人、介護関連会社、建設会社ほか ■ミニブースPRコーナー出展者／35社(協賛企業)

主催 (株)高齢者住宅新聞社 〒104-0061 東京都中央区銀座8-12-15

TEL.03-3543-6852 FAX.03-3543-6853

高齢者住宅新聞 検索

高齢者住宅セミナースケジュール 全18講座 (敬称略)

※各会場でセミナー開始時間が異なりますのでご注意下さい。

10月29日(火)

A会場

介護 医療制度 11:00~12:00 A-1

地域包括ケアの課題と
社会保障制度改革の行方現在進行中の社会保障制度改革議論を踏まえ、
地域包括ケアを展望

白澤政和

桜美林大学大学院老年学研究科 教授



1994年、大阪市立大学生活科学部人間福祉学科教授に就任。2011年、大阪市立大学名譽教授となる。主要著書は「介護保険制度」のあるべき姿—利用者主体のケアマネジメントをもとに、「地域のネットワークのつくり方—地域包括ケアを推進するために」ほか、主な受賞は「吉村大賞」(「ケアマネジメントの理論と実践」により)、「福武直賞」(「ケースマネジメント」の理論と実践により)。日本社会福祉士養成校協会会長、日本在宅ケア学会前理事長、日本社会福祉学会前会長など。日本で最初にケアマネジメントに関する論文や著書を書き、日本の土壤でのケアマネジメントを提唱した。

在宅医療 13:00~14:00 A-2

在宅患者が快適に過ごすための
排尿コントロール

~高齢者施設での訪問診療における泌尿器科との連携~

関西圏・関東圏で在宅医療を手掛ける医師が、
在宅医療で効果をあげる泌尿器科のノウハウを紹介

神農雅秀

医療法人慶春会 あおいクリニック(ナチュラルケアグループ) 院長



医学博士。専門は総合内科、泌尿器科、腎臓内科。日本泌尿器科学会(認定)専門医・指導医。京都府立医科大学を卒業後、同大学附属病院に勤務。その後、松下記念病院 泌尿器科、西陣病院の泌尿器科医長の経験を経て、2013年4月に医療法人慶春会あおいクリニックの院長に就任。

介護 14:20~15:20 A-3

「チャーム・ケア」の経営戦略と
介護付有料老人ホーム運営の
ポイント

関西圏で着実に運営実績を伸ばし、昨年上場した「チャーム・ケア」の経営ビジョンと運営におけるポイントを披露

下村隆彦

チャーム・ケア・コーポレーション 社長



1943年生まれ。1966年3月、大阪工業大学建築学科卒業。1969年4月、下村建設株式会社に入社。1973年6月、代表取締役に就任。2004年6月、介護事業に参入する。2004年11月、株式会社愛ライフ代表取締役に就任。2007年12月、株式会社チャーム・ケア・コーポレーション代表取締役就任(株式会社愛ライフより社名変更)。

B会場

行政 11:10~12:10 B-1

厚生労働省が考える
高齢者向け住まいのあり方

理想の高齢者住宅像と、それに対する厚生労働省の施策について解説

山口義敬

厚生労働省高齢者支援課 高齢者居住福祉専門官



2006年、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程を修了後、国土交通省建築基準法や公営住宅法の担当官として、構造計算書偽造問題や東日本大震災後の住宅復興など、建築・住宅行政に取り組む。2012年4月からは、厚生労働省においてサービス付き高齢者向け住宅や有料老人ホームを担当。

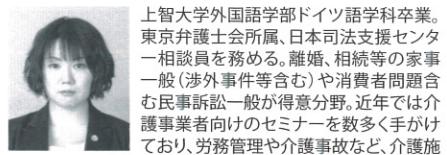
リスクマネジメント 13:10~14:10 B-2

介護事業者が遭遇しうる
法的リスクと対処法

介護事故・労務管理・財産管理、入居者対応など、事業者が直面しうるトラブル事例とその対処法について解説

長谷川桃、家永勲

介護士法人アヴァンセリーガルグループ 執行役員・介護士



上智大学外国语学部ドイツ語学科卒業。東京弁護士会所属、日本司法支援センター相談員を務める。離婚、相続等の家庭一般(涉外事件等含む)や消費者問題含む民事訴訟一般が得意分野。近年では介護事業者向けのセミナーを数多く手がけており、労務管理や介護事故など、介護施設を取り巻く法律問題にも深く精通している。

在宅医療 14:30~15:30 B-3

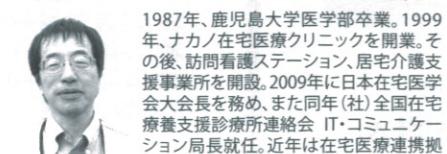
キュアからケアへ、
在宅医療のこれからの姿

~鹿児島での地域包括ケアの先進事例~

14年間の歩みと地域包括ケア構築、従来のキュア志向の医療に対するケア志向の医療という新しい概念を提唱

中野一司

医療法人ナカノ会 ナカノ在宅医療クリニック 理事長



1987年、鹿児島大学医学部卒業。1999年、ナカノ在宅医療クリニックを開業。その後、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を開設。2009年に日本在宅医療学会会長を務め、また同年(社)全国在宅医療支援診療所連絡会 IT・コミュニケーションセンター局長就任。近年は在宅医療連携拠点センター事業に注力するほか、高齢者住宅などの複合施設「ケアタウン・ナカノ」構想に着手した。医学博士、薬剤師。鹿児島大学医学部臨床教授。

※セミナー内容・講師・時間帯は
変更になる場合があります。予めご了承下さい。

C会場

介護 11:00~12:00 C-1

終末期専用サービス付き
高齢者向け住宅で見えた
理想のターミナルケア

名古屋で運営する「終末期専用サービス付き高齢者向け住宅」で実践するターミナルケア・看取り事例を紹介

吉田豊美

ナーシングホームJAPAN 社長



大学病院や民間病院で看護師として勤務後、2000年に来光会尾州病院の訪問看護師テーション(和み)の所長に就任。2005年には訪問看護ステーション「ナースコール在宅センター訪問サービス」を設立。2008年には名古屋市に末期がん患者に特化した高齢者専用賃貸住宅(当時)「ナーシングホームJAPAN」を開設。現在は、看護専門学校講師、在宅ホスピスケア経営コンサルタントとしても活動中。

A会場

医療・介護連携 11:10~12:10 A-1

地域高齢者を支える
医療・介護連携について

民間の医療・介護・福祉連合体として、地域の高齢者を支えるための新たな取り組み事例紹介

喜馬通博

医療法人寿山会 喜馬病院 理事長



1979年、関西医科大学卒業、1985年、関西医科大学大学院卒業。医学博士。2008年、医療法人寿山会理事長就任。日本外科学院外科学専門医。関西医療大学非常勤講師。警察医。中河内地域連携クリティカルバス委員、大阪府病院協会代議員、介護支援専門員等を務めている。現在、医療法人寿山会と関連会社三輪を運営している。

10月30日(水)

B会場

在宅医療 11:00~12:00 B-1

在宅医療の普及と
拡大のためのICT活用
～地域連携、効率化実現～

スマホやクラウドを用いた低コストで実践的なICT活用による情報共有や効率化、地域連携などの実際を紹介

遠矢純一郎

医療法人社団プラタナス 桜新町アーバンクリニック 院長



1992年、鹿児島大学医学部卒。2000年に用賀アーバンクリニック開業、副院長に就任。2009年より現職。東京都世田谷区を中心とした在宅医療を実践。特に開業当初よりICTを積極活用し、医療・看護のチームケアに活かす。今年度の厚生労働省のモデル事業である、認知症初期集中支援チームの受託を受け、クリニックを主体とした活動を開始した。日本内科学会総合内科専門医、日本在宅医学会指導医。

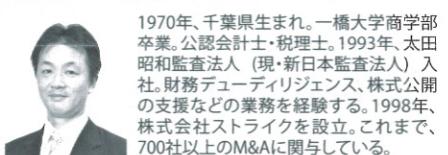
※セミナー内容・講師・時間帯は
変更になる場合があります。予めご了承下さい。

C会場

介護 11:00~12:00 C-1

介護事業者のM&A活用法
～地域密着企業から全国規模まで～

M&Aを含めた事業承継の選択肢を説明し、その進め方や注意点について事例を交えて解説

社長 荒井邦彦 事業開発室長 石垣圭史
ストライク


1970年、千葉県生まれ。一橋大学商学部卒業。公認会計士・税理士。1993年、太田昭和監査法人(現・新日本監査法人)入社。財務デューディリジェンス、株式公開の支援などの業務を経験する。1998年、株式会社ストライクを設立。これまで、700社以上のM&Aに関わっている。

介護 13:10~14:10 A-2

介護 13:10~14:10 A-2

デザイン・設計でここまで変わる
介護施設における高齢者のQOL

個室感覚の多床室など、高齢者の生活ニーズに合わせた介護施設での「生活環境向上」事例を紹介

太田澄子

社会福祉法人新生会 常務理事



社会福祉士。中央総合福祉専門学校社会福祉科卒業。1986年から特別養護老人ホーム「サンビレッジ新生苑」に勤務。1995年、同施設の施設長に就任。2008年より現職。岐阜県老人福祉施設協議会副会長や岐阜県社会福祉協議会福祉サービス評議会運営委員会を歴任。共著として「アクリティビティ・サービス総論」、「尊厳を支えるケアを目指して失敗事例から学ぶ50のヒント集」など。

介護 13:10~14:10 B-2

異業種参入企業だから見えた
高齢者住宅・介護事業で失敗しないコツ

～サービス付き高齢者向け住宅運営者の本音～

異業種からの介護事業参入における失敗しないための運営手法を、サ付き住宅の運営者が本音で話す

南部淳

南部薬品 社長



1961年、愛知県生まれ。岐阜薬科大学卒業後、一部上場企業に入社。1987年に祖父が創業した南部薬品株式会社に入社。専務取締役を経て1998年に代表取締役就任。介護業界の成長をみられ、1999年にケアマネジャーの資格を取得。訪問介護事業、居宅支援、福祉用具貸与、訪問看護を開始。2012年、ディサービスとサービス付き高齢者向け住宅のFC事業を開始。2014年4月に2階に新本社を設置したサービス付き高齢者向け住宅を開設予定。

介護 13:10~14:10 C-2

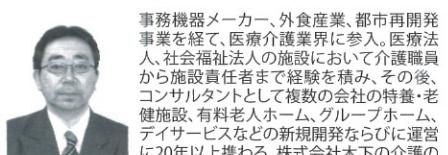
「木下の介護」の
新規開発・M&A戦略

～成功する有料老人ホーム運営～

有老ホームとサ付き住宅の比較や運営における落とし穴、高齢者住宅を取り巻く行政の動向を解説

福元均

木下の介護 取締役常務



事務機器メーカー、外食産業、都市再開発事業を経て、医療介護業界に参入。医療法人・社会福祉法人の施設において介護職員から施設責任者まで経験を積み、その後、コンサルタントとして複数の会社の特養・老健施設、有料老人ホーム、グループホーム、デイサービスなどの新規開発ならびに運営に20年以上携わる。株式会社木下の介護の介護事業立上げに貢献。介護施設M&Aの第一人者。2011年より、日本の「KAIGO」についてアジア各地で講演を多数行う。東京都福祉サービス第三者評価機関評価者。

介護 14:20~15:20 C-3

在宅医療 14:30~15:30 A-3

高齢者施設・サービス付き
高齢者向け住宅での
看取りのポイント

在宅医療のプロが、これまでの事例をもとに高齢者住宅・施設における看取りの注意点やポイントを解説

長尾和宏

医療法人社団裕和会 長尾クリニック 理事長



1984年、東京医科大学卒業、大阪大学第二内科入局。聖徒病院、大阪大学病院第二内科、市立芦屋病院勤務を経て1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。日本慢性期医療協会理事、日本ホスピス在宅ケア研究会・理事、日本尊厳死学会・副理事長、関西支部長、関西国際大学・客員教授。主な著書は「平穏死・10の条件」、「胃ろうという選択」、「平穏死」という親孝行(アースターエンターテインメント)、「がんの花道」、「家族が選んだ平穏死」、「医療否定本に殺されない48の実践」、「抗がん剤・10のやめ時」など多数。

リスクマネジメント 14:20~15:20 B-3

管理者なら知っておきたい
事例から学ぶ介護事故・
入居者クレーム対応法

介護現場で実際に起った事故・トラブルをもとに、事業者としての対応策・事前防止策のあり方を解説

山田滋

安全な介護実践研究センター



早稲田大学法学院卒業後、現あいおいニッセイ同和損害保険入社。2004年より介護・福祉施設の経営企画・リスクマネジメント企画立案に携わる。その後インターリスク研修、あいおいニッセイ同和損害保険で勤務。2013年5月に退社し、安全な介護実践研究センターを設立。現在は、介護事業所のリスクマネジメントなどをテーマに講演・執筆活動を行っている。老人福祉施設や訪問介護事業者と一緒に取り組み、現場で積み上げた実践に基づくリスクマネジメントの方法論は「わかりやすく実践的」と好評。

サ付き住宅は終の棲家
～そのためのケアサービスとは～

看取りにも対応したサービス付き高齢者向け住宅の実例をもとに、理想的のケアサービス体制を考察

浅川澄一

福祉ジャーナリスト